

京都帝國大學經濟學會

經濟論叢

第 一 號 第 二 十 卷

論 說

地租に於ける特別税對附加税……………法學博士 神戸 正雄

歴史の本領……………法學博士 財部 靜治

ヘンリー・ジョージの土地國有論……………法學博士 河田 嗣郎

獨逸税制の發達を論ず……………法學博士 小川郷太郎

時 論

米價安定と常平倉……………法學博士 戸田 海市

說 苑

日本經濟史研究の必要と困難……………法學士 本庄榮治郎

世界貿易概観……………法學士 小島昌太郎

京都市小學校教員生計調査……………法學士 沙見 三郎

正常需要供給の動的考察と時の要素……………法學士 石川 興二

特 別 號

世界貿易概観

小島昌太郎

世界に於ける貨物交通の有様が、今日如何なる現状にあり、又如何なる發達傾向にあるかを知らるは、交通現象を研究するに就いて第一に必要な事柄である。而して之に就いては、世界貿易の一般的状態や、各國相互の貿易關係や、主要貨物の移動状態等を、金額の上よりと數量の上よりとの二方面より研究せねばならぬ。

私は本論に於いては、右の中、世界貿易の一般的状態を金額の上より概観しようと思ふ。數量上の調査は、或意味に於いては、金額上の調査よりも重要なのであるが、之は貨物の種類に従つて觀察をなす場合には、物によりては稍々正確に行ひ得るが、一國全體の貿易、若しくは世界全體の貿易を總ての種類の貨物を包括して概観せんとする場合には、殆ど之を行ふことが出來ない。その譯は、貿易統計表の上には、國によりて、數量上の計數を掲載せざるものあり、又縦ひ之を掲載するも、或る貨物は容積を以て表示せられ、他の貨物は重量を以て表示せられて居るから、數量の上より、一國が幾何の貿易を營み居るか、又は世界に幾何の貿易が行はれ居るかを見るには、容積又は重量の何れかの單位に換算せねばならぬのであるが、この容積を重量に若しくは

重量を容積に換算することは、近似的なる結果を得ることさへ殆ど不可能なる場合があるからである。勿論、金額による調査も、嚴密に言へば、必ずしも正確なる結果を得らるべきものではない。貨幣購買力の變動即ち物價の變動や、爲替換算率の變動や、貨幣名目の相違やが、諸國の間に交易せられたる貨物の實質的貨幣價値の調査を不正確ならしむるからである。併しながら、貨幣上の換算は、容積と重量との間に於ける換算に比ぶれば、不正確を免れ得る度合に於いて大に優れたる所がある。故に、物價の變動を考慮に入れて觀察するときは、金額を以て表示せられたる貿易統計は、世界の貨物交通の状態を、概略ながら知ることを得しむるのである。

二

世界貿易の總額を調査することは、嚴密に言へば殆ど不可能である。貿易關係を有する總ての國、總ての植民地、總ての地方を遺漏なく擧げ得ても、その悉くの貿易統計を聚集することは出来ない。又統計表上に表はされたる金額なるものも、此種統計の常として、必ずしも之を正確なるものと見ることは出来ない。故にかゝる調査は、決して正確を望むにあらすして、出來得る限り正確ならんことを期しながら、近似的なる結果を得ることを以て満足するの外はない。私は茲に伊太利、英吉利、印度、露西亞、日本、新爾蘭、ボリヴィア、葡萄牙、北米合衆國、秘露、白耳義、波斯、獨逸、土耳其、智利、ルトマニア、加奈陀、南亞聯邦、蘭領東印度、諾威、澳地利、洪牙利、濠太利、和蘭、ブルガリア、佛蘭西、伯刺西爾、埃及、丁抹、アルゼリア、亞爾然丁

希臘、墨西哥、支那、暹羅、比律賓、モロッコ、瑞西、瑞典、西班牙の二十九ヶ國に就いて一九〇〇年以來の貿易金額を調査し、以て世界貿易の一般的状态を調査しようと思ふ。

先づ此等諸國の貿易金額と、その發達の趨勢を表はす指數とを、國別に示せば次の如くである。

この統計表は「政家年鑑」(Statesman's Year Book)より、各該年度記載の分を彙集して作成したのであるが、該年鑑には多く英貨磅 (pound sterling) を以て記載してあるから、茲に之を彙集するに當つても、便宜の爲め磅を以て表示することとした。但し、該年鑑には國により、文年により磅を以て表示せずして、本國貨幣を以て表示したものであるから、此等は茲に掲ぐるに當り、總て平價を以て磅に換算して統一するにこした。即ち印度(英領)は一五ルーピー (rupee) を一磅、露西亞は一〇ルーブル (rouble) を一磅、ボリウイアは一・五ボリウイアノ (boliviano) を一磅、葡萄牙は四・五ミルレー (milreis) を一磅、秘露は一〇ソール (sol) を一磅、波斯は五〇クラン (kran) を一磅、北米合衆國及び加奈陀は四・八六五弗 (dollar) を一磅、土耳其は一リラ (lira) を一〇磅、智利は一ペソ (peso) を一八片、ルーマニアは二五・二五リヤ (lei) を一磅、諾威及び丁抹は一八クローネ (kroner) を一磅、和蘭及び蘭領東印度は二ニヤルター (gulden) を一磅、アルカリアは二五レヴァ (leva) を一磅、佛西、瑞西及びブルゼリアは二五・二五法 (franc) を一磅、希臘は二五ドラクマイ (drachma) を一磅、墨西哥は一ペソ (peso) を一磅、支那は七・五海關兩を一磅、瑞典は一八クローノール (kronor) を一磅、西班牙は二五・二五ペセタ (peseta) を一磅として夫々之を換算したのである。但し我日本のみは帝國統計年鑑により、且つ九・七六三・一七圓を一磅とした。而して一九〇〇年(明治三十三年)を基礎として、各年の指數を算出したのは、同年は一段階を劃する年でもあり、又物價指數は同年十月の物價を本として算出せられて居るから、かたゞ比較の便宜を慮つたからである。又一九一三年の統計を引用したのは、同年は大戦の前年であつて、戦前戦後の比較をなすに必要だからである。

主要諸國對外貿易表

(いろは順)

(一) 伊太利 (Italy)

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	111	111	111	111	111
一九一〇	112	112	112	112	112
一九一三	114	114	114	114	114
一九一五	115	115	115	115	115
一九一六	116	116	116	116	116
一九一七	117	117	117	117	117
一九一八	118	118	118	118	118
一九一九 ¹⁾	119	119	119	119	119

(二) 英吉利 (United Kingdom of Great Britain and Ireland)

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	102	102	102	102	102
一九一〇	104	104	104	104	104
一九一三	105	105	105	105	105
一九一五	106	106	106	106	106
一九一六	107	107	107	107	107
一九一七	108	108	108	108	108
一九一八	109	109	109	109	109
一九一九 ²⁾	110	110	110	110	110
一九一九 ³⁾	111	111	111	111	111

(三) 三印度 (British India)

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	101	101	101	101	101
一九一〇	102	102	102	102	102
一九一三	103	103	103	103	103
一九一五	104	104	104	104	104
一九一六	105	105	105	105	105
一九一七	106	106	106	106	106
一九一八	107	107	107	107	107
一九一九	108	108	108	108	108

(四) 露西亞 (Russia)

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	101	101	101	101	101
一九一〇	102	102	102	102	102
一九一三	103	103	103	103	103
一九一五	104	104	104	104	104
一九一六	105	105	105	105	105

(五) 日本

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九一〇	100	100	100	100	100
一九一五	101	101	101	101	101
一九一六	102	102	102	102	102

1) 推定額
 2) 一九一四年八月開戰當時より一九一七年上半年期に至る期間内は英政府並びに聯合側政府に屬する貨物の或種ものは輸出入統計に計上せられ居らす。
 3) 三月三十一日に至る一ヶ年間

年次	輸 入			輸 出			合 計		
	金額 千磅	指數	指數	金額 千磅	指數	指數	金額 千磅	指數	指數
一九〇〇	10,426,666	100	13,750,000	100	24,176,666	100	24,176,666	100	
一九〇五	13,228,000	110	15,000,000	112	28,228,000	117	28,228,000	117	
一九一〇	17,000,000	140	22,000,000	160	39,000,000	161	39,000,000	161	
一九一三	20,268,000	192	23,000,000	167	43,268,000	179	43,268,000	179	
一九一五	21,768,000	208	23,000,000	167	44,768,000	185	44,768,000	185	
一九一六	22,000,000	211	23,000,000	167	45,000,000	186	45,000,000	186	
一九一七	22,000,000	211	23,000,000	167	45,000,000	186	45,000,000	186	
一九一八	22,000,000	211	23,000,000	167	45,000,000	186	45,000,000	186	
一九一九	22,000,000	211	23,000,000	167	45,000,000	186	45,000,000	186	

(六) 新 西 蘭 (New Zealand)

說 苑 世界貿易概觀

(七) ボリヴィア (Bolivia)

年次	輸 入			輸 出			合 計		
	金額 千磅	指數	指數	金額 千磅	指數	指數	金額 千磅	指數	指數
一九〇〇	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九〇五	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一〇	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一三	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一五	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一六	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一七	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一八	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一九	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	

(八) 葡 萄 牙 (Portugal)

年次	輸 入			輸 出			合 計		
	金額 千磅	指數	指數	金額 千磅	指數	指數	金額 千磅	指數	指數
一九〇〇	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九〇五	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一〇	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一三	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一五	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一六	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一七	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一八	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	
一九一九	1,000,000	100	1,000,000	100	2,000,000	100	2,000,000	100	

(九) 北 米 合 衆 國 (United States of America)

5) 内國製品のみ

年次	輸入		輸出		合計
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數	
一九〇一	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇二	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇三	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇四	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇五	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇六	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇七	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇八	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇九	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一〇	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一一	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一二	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一三	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一四	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一五	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一六	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一七	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一八	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一九	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250

年次	輸入		輸出		合計
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數	
一九〇一	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇二	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇三	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇四	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇五	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇六	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇七	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇八	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九〇九	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一〇	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一一	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一二	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一三	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一四	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一五	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一六	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一七	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一八	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250
一九一九	1,827,150	100	1,007,100	100	2,834,250

5) 六月三十日に終る一ケ年間
6) 東京銀行通信錄大正九年九月號所載より換算

一九一三	106,727	106,727	106,727
一九一五	106,727	106,727	106,727
一九一六	106,727	106,727	106,727
一九一七	106,727	106,727	106,727
一九一八	106,727	106,727	106,727

(九) 蘭領東印度 (Dutch East Indies)

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	111	111	112	112	111.5
一九一〇	115	115	115	115	115
一九一三	115	115	115	115	115
一九一五	115	115	115	115	115
一九一六	115	115	115	115	115
一九一七	115	115	115	115	115
一九一八	115	115	115	115	115

(三) 奧地利洪牙利 (Austria-Hungary)

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	111	111	111	111	111
一九一〇	115	115	115	115	115
一九一三	115	115	115	115	115
一九一五	115	115	115	115	115
一九一六	115	115	115	115	115
一九一七	115	115	115	115	115

(三) 澳大利 (Australia)

年次	輸入		輸出		合計
	金額指數	千磅	金額指數	千磅	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	111	111	111	111	111
一九一〇	115	115	115	115	115
一九一三	115	115	115	115	115
一九一六	115	115	115	115	115
一九一七	115	115	115	115	115
一九一八	115	115	115	115	115

1) 一九一四年以來貿易統計年度を變更して爾後六月三十日に終る一年間を一期とす

年次	輸入	輸出	合計
一九二六	1,316,180	1,519,330	2,835,510
一九二七	1,018,130	1,319,130	2,337,260
一九二八	1,018,130	1,319,130	2,337,260
一九二九	1,018,130	1,319,130	2,337,260

年次	輸入	輸出	合計
一九〇〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九〇五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一三	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一六	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一七	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一八	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一九	1,217,000	1,217,000	2,434,000

年次	輸入	輸出	合計
一九〇〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九〇五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一三	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一六	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一七	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一九	1,217,000	1,217,000	2,434,000

年次	輸入	輸出	合計
一九〇〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九〇五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一三	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一六	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一七	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一八	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一九	1,217,000	1,217,000	2,434,000

年次	輸入	輸出	合計
一九〇〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九〇五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一三	1,217,000	1,217,000	2,434,000

年次	輸入	輸出	合計
一九〇〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九〇五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一〇	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一三	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一五	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一六	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一七	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一八	1,217,000	1,217,000	2,434,000
一九一九	1,217,000	1,217,000	2,434,000

說苑 世界貿易概觀

第十二卷 (第一號) 一三五 一三五

10) 推定額

(二) 埃及 (Egypt)

年次	輸入		輸出		合計
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	110	110	110	110	110
一九一〇	120	120	120	120	120
一九一五	130	130	130	130	130
一九一六	140	140	140	140	140
一九一七	150	150	150	150	150
一九一八	160	160	160	160	160

(三) 丹抹 (Denmark)

年次	輸入		輸出		合計
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	110	110	110	110	110
一九一〇	120	120	120	120	120
一九一三	130	130	130	130	130
一九一五	140	140	140	140	140
一九一六	150	150	150	150	150
一九一七	160	160	160	160	160
一九一八	170	170	170	170	170
一九一九	180	180	180	180	180

(二) アルゼリア (Algeria)

年次	輸入		輸出		合計
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	110	110	110	110	110
一九一〇	120	120	120	120	120
一九一三	130	130	130	130	130
一九一五	140	140	140	140	140
一九一六	150	150	150	150	150
一九一七	160	160	160	160	160
一九一八	170	170	170	170	170
一九一九	180	180	180	180	180

(三) アルゼリア (Argentina)

年次	輸入		輸出		合計
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數	
一九〇〇	100	100	100	100	100
一九〇五	110	110	110	110	110
一九一〇	120	120	120	120	120
一九一三	130	130	130	130	130
一九一五	140	140	140	140	140
一九一六	150	150	150	150	150
一九一七	160	160	160	160	160
一九一八	170	170	170	170	170
一九一九	180	180	180	180	180

一九一三年迄の數は公定價額 (Official value) であるが、一九一五年以後の數は現實價額 (Real value) である。

(三) 希臘 (Greece)

年次	輸入 金額指數	輸出 金額指數	合計 金額指數
一九〇〇	100	169	100
一九〇五	104	11	104
一九一〇	112	106	109
一九一三	110	111	110
一九一五	112	111	111
一九一六	109	106	107
一九一七	104	104	104

(三) 墨西哥 (Mexico)

年次	輸入 金額指數	輸出 金額指數	合計 金額指數
一九〇一	100	100	100
一九〇六	100	100	100
一九一〇	100	100	100
一九一三	100	100	100
一九一五	100	100	100
一九一七	100	100	100

(三) 支那

說苑 世界貿易概觀

年次	輸入 金額指數	輸出 金額指數	合計 金額指數
一九〇〇	100	100	100
一九〇五	100	100	100
一九一〇	100	100	100
一九一三	100	100	100
一九一五	100	100	100
一九一六	100	100	100
一九一七	100	100	100
一九一八	100	100	100

(三) 暹羅 (Siam)

年次	輸入 金額指數	輸出 金額指數	合計 金額指數
一九〇〇	100	100	100
一九〇五	100	100	100
一九一〇	100	100	100
一九一三	100	100	100
一九一五	100	100	100
一九一六	100	100	100
一九一七	100	100	100
一九一八	100	100	100

(三) 菲律賓賓 (Philippine Islands)

第十二卷 (第一號 一三七) 一三七

11) 一九一四年以後一七年に至る期間は内亂の爲め統計發表せられ居らず
 12) 三月三十一日に終る一ケ年(?)

年次	輸入		輸出		合計	
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數		
一九〇〇	5,251	100	4,350	100	9,601	100
一九〇五	6,010	113	4,750	109	10,760	111
一九一〇	6,250	120	4,150	95	10,400	108
一九一三	10,821	206	2,850	65	13,671	141
一九一五	8,821	169	10,751	247	19,572	203
一九一六	9,022	172	12,629	290	21,651	225
一九一七	10,222	193	12,751	293	22,973	239
一九一八	12,651	240	12,251	284	24,902	258
一九一九	12,651	240	12,251	284	24,902	258

(三) モロッコ (Morocco)

年次	輸入		輸出		合計	
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數		
一九〇〇	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九〇五	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九一〇	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九一三	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九一五	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九一六	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九一七	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九一八	1,251	100	1,251	100	2,502	100
一九一九	1,251	100	1,251	100	2,502	100

(三) 瑞 西 (Switzerland)

年次	輸入		輸出		合計	
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數		
一九〇〇	4,251	100	4,350	100	8,601	100
一九〇五	5,251	122	4,750	109	10,001	116
一九一〇	5,251	122	4,150	95	9,401	109
一九一三	8,821	206	2,850	65	11,671	136
一九一五	8,821	206	10,751	247	19,572	226
一九一六	9,022	212	12,629	290	21,651	251
一九一七	10,222	240	12,751	293	22,973	265
一九一八	12,651	298	12,251	284	24,902	286
一九一九	12,651	298	12,251	284	24,902	286

(三) 瑞 典 (Sweden)

年次	輸入		輸出		合計	
	金額 千磅	指數	金額 千磅	指數		
一九〇〇	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九〇五	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九一〇	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九一三	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九一五	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九一六	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九一七	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九一八	2,251	100	2,251	100	4,502	100
一九一九	2,251	100	2,251	100	4,502	100

13) 不明

(三) 西班牙 (Spain)

年次	輸入		輸出		合計	
	金額指數	金額指數	金額指數	金額指數		
一九〇〇	100	100	100	100	一九一〇	三九、六一
一九〇一	100	100	100	100	一九一三	四〇、七六
一九〇二	100	100	100	100	一九一五	四〇、三六
一九〇三	100	100	100	100	一九一六	四〇、三六
一九〇四	100	100	100	100	一九一七	四〇、三六
一九〇五	100	100	100	100	一九一八	四〇、三六

三

私は右に掲げたる三十九ヶ國の貿易統計により、世界に於ける貨物交通の大勢を概観せんとするのであるが、今その觀察をなすに先だち、前掲の統計表に就いて多少の説明をして置かねばならぬ。元來この調査の目的とする所は、貨物交通の狀態を知るにあるのであるから、前掲統計表の蒐集は、貨物輸出入の金額を表はす數字を採用し、貨幣及び地金銀の輸出入金額を除外する方針を以て、之を行つた。金銀の産出の豊富なる國にありては、その輸出も一種の貨物輸出ではあるが茲では之を考慮外に置くこととしたのである。故にこの統計表を拾ひ集むる原本として用ゐた所の「政家年鑑」に於いて、貨物輸出入と貨幣及び地金銀輸出入とを區別して掲載したものに就いては、勿論貨物輸出入金額のみをとり、兩者を合併したる金額なることを明記して、且つそのみを掲げたるものは、——それは貿易關係に於いて大して重要な地位を占むる國でなく、之を觀察外に置いて、大勢を知るに殆ど影響なき程度のものであつたから——調査の統一を期する爲め省略に附した。例へば錫蘭 (Ceylon) の如きはその一である。併しながら、國によりては又、貨物

輸出入のみの金額なるか、或は貨物輸出入と貨幣地金銀輸出入とを合併したる金額なるか、に就いて何等明かに記載せられて居なかつたものもある。此等は貨物輸出入の金額のみを表はすものと認めて、其儘之を採用した。又各國の他國に對する經濟的連帶關係、即ち各國が自國の經濟的構成に就いて幾何の程度迄外國産物の輸入に缺つ所あり、之に對し自國産品を、並びに外國原料を用ゐるも自國に於いて製造加工を施したる製品を、幾何輸出し得るかの關係を知らんとするには、總貿易 (General trade) の金額によらずして、所謂特殊貿易 (Special trade) の金額によるべきであるが、「政家年鑑」に於いては、總貿易と特殊貿易とを區別して掲載したるもの甚だ少く、多くは其何れなるかを記載し居らず、それらは總貿易額と看做し得べきものであつたから、茲にはなるべく總貿易の金額を集つむることとした。併しながら、又國によりては特殊貿易の金額だけより掲載せられ居らざるものもあつたから、それらは之を採用するの外なかつた。されば、前掲の統計表は此點に於いて決して統一を保ち得たものではない。又なるべく總貿易の金額を採用したる結果として此等の金額を世界的に通計したる場合、貨物移動の實數の一部分は、該貨物が通過した國の數に従ひ、二重三重に計上せらるゝこととなるが、此等は原統計表が不十分なるが爲め、已むを得ざる所である。併し輸入品を其儘輸出すると云ふことも、其國にとりては商業上若干の利得を擧ぐる事柄であり、國民所得の一部を作出する仕事であるから、總貿易額を採用したることは、各國貿易力を比較する上に於いては却つて便宜であらう。

次に前掲の統計表によりて、各國の貿易を比較し、又は此等を通計して世界貿易の總額を知ら

んとするに就いて注意すべき事柄が二つある。其一は各國が統計期間を一にして居ないことである。日本や英吉利や其他多くの國では、曆年に従つて貿易額を計上して居るが、北米合衆國や濠大利の如きにありては、七月一日より翌年の六月三十日に至る一ケ年を以て貿易統計の一期間として居る。¹⁴⁾ 其二は貿易金額の取扱ひ方に於いて各國必ずしも同一の方法をとつて居ないことである。大抵は、輸入にありては、原産地代價に荷造費其他の費用、保険料及び輸入地までの運賃を含めたるもの (cost) を以て輸入價額とし、輸出にありては、發達港に於いて本船に積込むまでの費用を含めたる價額 (freight) を以て輸出價額として居る様であるが、之に對して著しき例外をなすものは北米合衆國の輸入價額である。此國にては原産地に於ける價額を以て輸入價額として居る。¹⁵⁾ 従つて、その輸入金額統計は他國のものより幾分少く表はるゝこととなる。

四

扱て、前掲三十九ヶ國の統計よりして世界貿易の大勢を概観するに、茲に集めたるだけのものを總計するにては、正確に言へば、未だ以て世界貿易の總額として之を取扱ふことを得ないものであるが、併し茲に漏れたるものは、世界貿易上さほど重要な關係にあるものでないから、假にその總計を以て世界貿易の總額と看做すならば、その發達状態は次の如くである。但しその總額なるものは前に述べたるが如く、統計に用ゐられたる期間と、統計に表はされたる金額の實質とに於いて、各國の間に多少の差異ある所のものを、一列に計上したものであることを斷つて置

14) 印度と暹羅とは三月三十一日に終る一ケ年間、波斯と墨西哥とは不明

15) Bowley, An Elementary Manual of Statistics, p. 115,

かねばならぬ。

世界貿易總額表

年 次	輸 入		輸 出		合 計	
	金額	指數	金額	指數	金額	指數
一九〇〇	11,011,741	100	10,013,250	100	21,025,000	100
一九〇五	11,782,312	107	11,611,222	116	23,393,534	111
一九一〇	13,401,381	121	13,338,011	133	26,739,392	127
一九一三	14,182,777	128	14,816,121	148	28,998,898	138
一九一八	14,802,056	134	15,252,332	152	29,054,388	139

右の金額には、前掲二十九ヶ國の中で、一九〇〇年と一九〇五年とは、南亞聯邦は含まれず、一九一八年には、露西亞、葡萄牙、白耳義、波斯、獨逸、土耳其、ルーマニア、諾威、奧地利、牙利、和蘭、ブルガリア、希臘、瑞典の十三ヶ國の統計が含まれて居ない。故に一九一八年の世界貿易總額は實際は前掲の數より幾分多いものである。併し此等の國は一九一八年には、大戰の爲めその對外貿易甚だしく阻害せられ居たるを以て、姑く此等を計算外に置くも、世界貿易總額を概観するに於いて甚だしき不都合はないであらう。一九一九年の各國の貿易統計はまだ出揃つて居ないから、同年の世界貿易總額は概算だもすることは出来ない。よつて茲に同年の總額は掲載しなかつたのである。

今、前掲表によりて之を觀るに、單に金額の上のみより言へば、世界貿易は二十世紀の最初の十年間に輸入に於いて五割九歩、輸出に於いて六割一歩、輸出入合計に於いて六割の増加を示し、

大戰前年の一九一三年に至るまでには輸入は九割三步、輸出は九割、輸出入合計にて九割二歩の増加を示し、大戰最後の年たる一九一八年に至つては、輸入は十一割八歩、輸出は九割五歩、輸出入合計にて十割八歩の増加を示して居る。

金額の増加は右の如くであるが、併しかゝる金額の増加は物價の騰貴に基く所多いのであるから、上掲の増加歩合を以て眞實の貿易の増加と看做すことは出来ない。眞實の貿易の増加を知るが爲めには上述の數に多大の修正を加へねばならぬ。その修正方法としては、總輸出入貨物の中で、一定の數量に對する市價を確認し得べき數種又は數十種の特種貨物の代價を特定の年又は特定の短期間に於いて査定し、之を基礎として調査年度に於ける該貨物の代價騰落の歩合を調べ、之より推して一般の輸入貨物及び輸出貨物の、基礎年度の代價に換算したる輸出入金額を推算するのである。¹⁶⁾かくて各年度の修正せられたる輸出入金額を比較せば、大體ながら、貿易發達趨勢の近似的なる眞相を知ることが出来るであらう。併し此方法は日本のみの、又は英吉利のみの貿易と云ふ風に、個別的の觀察に於いては行ひ得るが、世界貿易總額の發達狀態を觀察せんとする場合には到底之を行ふことが出来ない。よつて私は、右と同様の趣旨により、倫敦、紐育、東京に於ける物價指數によりて右の修正を施すこととし、之によりて世界貿易の發達の狀態を推知しようと思ふ。勿論、倫敦、紐育、東京と云ふ只僅かに三都市に於ける物價騰落の狀態を以て、世界物價騰落の標準とするは、決して正確なる觀察方法ではないが、併し之によりても金額より見る所の世界貿易發達の觀察に對して、不完全ながら修正をなすことが出来る。三都市に於ける物價

16) Bowley, An Elementary Manual of Statistics, pp. 117-

指數は次の如くである。

東京倫敦紐育物價指數

年次	東京	倫敦	紐育	平均
一九〇〇	100.0	100.0	103.0	100
一九〇五	112.8	111.7	102.4	109
一九一〇	140.0	110.8	112.1	114
一九一三	141.0	112.7	112.6	119
一九一五	147.0	117.1	117.1	124
一九一六	144.0	116.1	116.2	124
一九一七	142.1	115.8	111.8	124
一九一八	142.8	117.4	111.7	126
一九一九	142.2	117.1	112.9	126

一九一三年以後の倫敦及び紐育物價指數は日本銀行調査局内外物價指數對照表に掲載のものを其儘採用し、それ以前は該指數對照表手許になかりしを以て、日本銀行調査の基礎材料たる Economist's Broadstreet's をより、日本銀行の指數計算方法に従ひ換算したるものである。又下段の平均數は四捨五入法により算出した。

前掲指數により世界貿易額を修正せば次の如くなる。

世界貿易修正金額表

年次	輸 入		輸 出		合 計	
	金額	指數	金額	指數	金額	指數
一九〇〇	110,181	100	110,181	100	220,362	100
一九〇五	122,820	110	122,820	110	245,640	110
一九一〇	160,000	145	160,000	145	320,000	145
一九一三	162,000	147	162,000	147	324,000	147
一九一八	172,800	157	172,800	157	345,600	157

即ち、世界貿易の實質的進歩は、物價指數を以て統計金額を換算したる概略なる觀察に従へば、二十世紀の最初の十年間に輸入は三割七歩、輸出は三割九歩、輸出入合計にて三割八歩の増加を示し、大戰前年の一九一三年に至るまでには、輸入は五割四歩、輸出は五割二歩、合計にて五割三步の増加を示し、大戰最終の年たる一九一八年は、一九〇〇年に比べて、輸入に於いて二割二歩、輸出に於いて三割一步、合計にて二割六歩の減少となつて居る。若し夫れ、一九一八年を一九一三と比ぶれば、輸入は約五割、輸出は約五割四歩、合計にて約五割二歩の減少となる。

五

世界貿易の一般的狀態並びにその發達の趨勢を概観すれば右に述ぶるが如くであるが、然らばこの世界貿易を陸路によりて輸送せらるゝものと、海路によりて輸送せらるゝものとに分てば、其割合は如何になるか。普通に學者の推測する所に據れば、陸路によりて輸送せらるゝもの即ち陸上貿易は五分の一で、海路より輸送せらるゝもの即ち海上貿易は五分の四であるとのことである。¹⁷⁾勿論之に就いては何等正確なる統計の利用し得べきものはないのであるが、大戰中、英吉利に於いて、該國海運の維持に必要な手段を講究する目的を以て作られたる委員會の調査したる所によれば、世界貿易の七九%は海上貿易で、二一%が陸上貿易であると云ふ結果を得た。即ち從來一般に推測せられたる所を裏書し得た譯である。該調査の要領を掲ぐれば次の如くである。¹⁸⁾

- 17) Barm, Deutschlands Stellung im Welthandel und im Weltverkehr, S. 98; Halle, Volks- und See-Wirtschaft, Bd. I, S. 156.
18) Report of the Committee appointed to advice as to the measures requisite for the maintenanc of the British Mercantile Marine, 1917, Vol. I. p. 3.

一九二一年に於ける海上貿易と陸上貿易

	海上貿易 千噸	陸上貿易 千噸	合計 千噸
英吉利本國	1,250,000	1,250,000	2,500,000
英吉利屬領	250,000	100,000	350,000
英帝國合計	1,500,000	1,350,000	2,850,000
聯合側諸國			
中立諸國	2,500,000	1,400,000	3,900,000
敵國側諸國			
總計	4,000,000	2,750,000	6,750,000

世界貿易の五分の四が海上貿易であるとすれば、貿易の増進するに伴つて船舶の増加を要するは言ふ迄もない。今試みに、世界船舶噸數の増加と、前掲世界貿易(修正金額)の發達とを比較すれば、其状態は次の如くである。

世界船腹の増加と貿易の發達との比較

年次	汽船噸數 千噸	帆船噸數 千噸	兩者合計噸數 千噸	兩者合計指數	貿易指數
一九〇〇	21,777	6,281	28,058	100	100
一九〇五	25,224	6,074	31,298	112	112
一九一〇	34,320	5,232	39,552	141	132
一九一三	47,027	4,824	51,851	185	150
一九一八	—	—	—	—	—
一九一九	52,627	3,020	55,647	199	157

右の船舶統計はロイド船級組合に登録せられたる船舶の噸數であつて、汽船にありては總噸數一〇〇噸以上のもの、帆船にありては純噸數一〇〇噸以上のものである。又一九一八年の船舶統計は發表せられざりしが故に、假に一九一九年の船舶統計を以て一九一八年の貿易と對比したのである。

即ち之によれば、軍用として非常に多くの船舶を吸取せられたる戦時中は姑く除き、戦前に於いては、貿易の發達と船舶噸數の増加とは殆ど併行的發達を示して居る。只、船舶噸數の増加が貿易の發達よりも稍々遞加的現象を呈して居るのは、貿易が發展すると共に貨物の到達地點が次第に遠くなり、貿易量に比して船舶噸數を要することが増加したるによるのである。

六

次に前掲の世界貿易統計を見るに、輸入金額は常に輸出金額に超過して居る。之は、前にも述べたるが如く、輸出金額は大抵輸出港に於いて本船に積込むまでに要する費用のみを含むものであるが、輸入金額は、更に之に保険料、運賃等到達港に到るまでの費用を含むからである。故に前掲輸入金額と輸出金額との差額は、即ち貨物輸出に就いて要する種々なる勞務に對する費用であつて、換言すれば貨物輸出に附隨する所の無形輸出の代價である。而して此場合の無形輸出の代價なるものは、大體之を、世界貿易に要したる運賃と保険料とであると見ることが出来る。而して其中の大部分を占むるものは實に運賃である。然らばこの無形輸出の額は幾何であつて、貨物輸出金額に對し如何なる割合を占むるものであるか。ボーレイは一九〇四年の世界貿易統計より計算して、この無形輸出の額が貨物輸出金額に對する割合は九歩であると算出して居る。而してこの割合を算出するに當つて $\frac{\text{世界輸出金額}(1 + \frac{x}{100})}{\text{世界輸入金額} + \frac{(\text{全衆國輸入金額})x}{100}}$ と云ふ式を用ゐて居る。xがその割合である。之は前にも述べたるが如く、合衆國の貿易統計に掲げたる輸入

金額は、他國と異り、原産地に於ける價額であるからである。據つて私も此算法に従ひ、前掲の世界貿易統計を基礎として無形輸出の額を算出するに次の如き結果を得た。

貨物輸出に附随する無形輸出の金額

	一九〇〇年	一九〇五年	一九一〇年	一九一三年	一九一八年
無形輸出金額	百萬磅 101	百萬磅 177	百萬磅 211	百萬磅 247	百萬磅 263
貨物輸出金額に對する割合	10	11	12	13	13

茲に注意すべきことは、右の金額は無形輸出金額の全部ではなくて、只貨物輸出に關聯するものばかりである。この外に無形輸出金額としては、國際資金貸借に關する銀行の報酬、生命火災保險の保險料、漫遊者よりの收得、出稼人の送金等がある。又右の無形輸出金額は必ずしも貨物輸出國の收得となるにあらずして、國際的の運輸事業や海上保險、陸運保險等に活動せる國民の所得となるものである。

七

世界貿易の約五分の四が海上貿易なることは前述の如くであるが、然らばこの海上貿易を航路系統により分類觀察すれば如何なる状態にあるか。此點に就いては從來正確なる調査を見なかつた様であるが、私が本稿を起草しつゝある間に、偶々日本郵船會社に於いては非常な手数を掛けてこの航路系統による世界貿易の調査を完成せられ、未定稿として同社内部に於いて發表せられた。それは私の前に作成した統計の材料とは別の材料を用いたもので、主として各關係國の統計書

に據り、一九一三年と一九一九年との兩年を比較したものである。但し一九一九年の統計が利用し得られざる場合には一九一八年のものが補充的に用ゐられて居る。今、同社許諾の下に茲に其概要を引用すれば次の如くである。

(一) 地中海印度洋支那海方面貿易

	年次	東航	西航	合計	世界海上貿易に對する百分率
歐洲對極東	一九一三	5,770千噸	30,000千噸	35,770千噸	三・〇%
歐洲對印度南洋	一九一三	10,000千噸	11,000千噸	21,000千噸	二・七%
歐洲對濠洲	一九一三	5,000千噸	1,000千噸	6,000千噸	六・〇%
印度洋沿岸相互	一九一三	10,000千噸	1,000千噸	11,000千噸	四・三%
右合計	一九一三	11,000千噸	11,000千噸	22,000千噸	一・七%
(二) 北太平洋橫斷貿易					
右合計	一九一三	11,000千噸	11,000千噸	22,000千噸	一・八%

	年次	東航	西航	合計	世界海上貿易に對する百分率
極東對北米	一九一三	2,000千噸	10,000千噸	12,000千噸	一・五%
極東對南米西岸	一九一三	1,000千噸	1,000千噸	2,000千噸	三・〇%
南洋、印度對北米及	一九一三	1,000千噸	1,000千噸	2,000千噸	〇・六%
び南米西岸	一九一三	1,000千噸	1,000千噸	2,000千噸	〇・九%
右合計	一九一三	5,000千噸	13,000千噸	18,000千噸	二・六%

(三) 南太平洋橫斷貿易

年次	東航	西航	合計	世界海上貿易に對する百分率
濠洲對南米東岸及び西岸	二,九七九	四,二七六	七,二五五	〇・二五
合計	二,九七九	四,二七六	七,二五五	〇・二五

(四) 太平洋西岸地方貿易

年次	南航	北航	合計	世界海上貿易に對する百分率
極東對印度	二,四七九	三,〇七〇	五,五四九	一・〇〇
極東對南洋	二,九七九	三,〇七〇	六,〇四九	一・一六
極東對濠洲	一,〇七九	一,〇七〇	二,一四九	〇・四二
極東各國間	九七九	九七〇	一,九四九	一・一三
濠洲・新西蘭・フイジー間貿易	九七九	九七〇	一,九四九	〇・三三
右合計	九七九	九七〇	一,九四九	〇・三三
合計	九七九	九七〇	一,九四九	〇・三三

(五) 太平洋東岸地方貿易

年次	合計	世界海上貿易に對する百分率
北米相互・南米相互	二,九七九	〇・六
北米對南米合計	二,九七九	〇・六
合計	二,九七九	〇・六

(六) 北大西洋橫斷貿易

年次	西航	東航	合計	世界海上貿易に對する百分率
英吉利對北米	100,111 千磅	18,437 千磅	118,548 千磅	9.1%
北歐對北米	97,121 千磅	10,267 千磅	107,388 千磅	8.3%
地中海對北米	50,557 千磅	5,687 千磅	56,244 千磅	4.3%
英吉利對中米、西印度、カリブ地方	17,887 千磅	10,437 千磅	28,324 千磅	2.2%
歐洲大陸對中米、西印度、カリブ地方	10,987 千磅	4,700 千磅	15,687 千磅	1.2%
印度對北米	2,000 千磅	1,000 千磅	3,000 千磅	0.2%
右合計	220,662 千磅	48,467 千磅	269,129 千磅	20.7%
戰前	157,667 千磅	34,467 千磅	192,134 千磅	14.8%
戰後	63,000 千磅	14,000 千磅	77,000 千磅	5.9%

(七) 南大西洋橫斷貿易

年次	西航	東航	合計	世界海上貿易に對する百分率
英吉利、北歐、地中海沿岸、阿弗利加對南北米戰前	150,000 千磅	1,800 千磅	151,800 千磅	11.6%
戰後	88,000 千磅	2,800 千磅	90,800 千磅	7.0%

(八) 大西洋西岸地方貿易

年次	南航	北航	合計	世界海上貿易に對する百分率
北米對中米、西印度、カリブ地方	100,000 千磅	100,000 千磅	200,000 千磅	15.4%

說苑 世界貿易概觀

右以外の西岸地方貿易	一九二三					三,四七六	三,四七六	五・七〇
右 合 計	一九二三					一七,一五六	一七,一五六	五・七〇

(九) 大西洋東岸地方貿易

歐洲對阿非利加	一九二八					一〇,七四五	一〇,七四五	三・〇元
歐洲對阿非利加	一九二八					一〇,七四五	一〇,七四五	三・〇元

(一〇) 歐洲各地相互間貿易

英吉利對北歐	一九二九					三,二四五	三,二四五	三・三〇
英吉利對北歐	一九二九					三,二四五	三,二四五	三・三〇
英吉利對地中海沿岸	一九二九					一八,九四五	一八,九四五	三・五〇
英吉利對地中海沿岸	一九二九					一八,九四五	一八,九四五	三・五〇
北歐對地中海沿岸	一九二九					一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	〇・五元
北歐對地中海沿岸	一九二九					一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	〇・五元
北歐相互間	一九二九					一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	〇・五元
北歐相互間	一九二九					一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	〇・五元
地中海沿岸相互間	一九二九					一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	四・五元
地中海沿岸相互間	一九二九					一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	四・五元
右 合 計	一九二九					一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一六・八元

世界海上貿易に對する百分率

世界海上貿易に對する百分率

之によりて海上航路系統の上より世界貨物移動の状態を観察すれば、歐洲各地相互間を聯絡する航路は、世界貿易の通路として最大の輸送量を占め、戦前は世界海上貿易の三割四歩強、戦後

は二割九步弱である。之に次ぎては、北大西洋横斷航路であつて、戦前は二割二步強、戦後は二割七步強、以下、歐洲印度南洋航路（戦前一割弱、戦後六步強）南大西洋航路（戦前九步強、戦後五步強）大西洋西岸航路（戦前六步弱、戦後九步強）歐洲濠洲航路（戦前戦後共四步強）北太平洋航路（戦前二步強、戦後六步弱）歐洲極東航路（戦前三步強、戦後二步強）印度洋航路（戦前戦後共二步弱）等である。

*

上に述べたる所を以て、私は世界に於ける貨物交通の一般的状態を略述し了へたるにより、以下更に稿を改めて、各國がこの世界貨物交通の全量に對して如何なる割合を占めつゝあるか、並びに各國の貿易増進歩合は逐年如何なる發達を示しつゝあるかを概観するであらう。

(九・二・三)